

大阪市立大学都市防災シンポジウム

いのちを守る 都市づくり

～東日本大震災から見えてきたもの～

日時：平成24年3月15日(木)

18時30分～20時30分(受付18時～)

場所：ヴィアール大阪

大阪市中央区安土町3-1-3
御堂筋線本町駅1・3号出口より徒歩3分

大阪市立大学では、東日本大震災をうけて、分野横断の組織で「新たな都市防災」の研究・教育に努めています。この報告会は、東日本大震災における災害直後から復興始動までの一年の動きを整理し、これからの都市防災のあり方を、市民とともに考えるために最終報告会を企画しました。これからの新しい都市防災に向けて、「いのちを守る」ことを第一に、個別に考えていた災害を複合災害として見直します。多重防御の視点を持ちながら、コミュニティ再生の立場に立った新しい防災都市のあり方を考えます。今回は広く市民を対象としたシンポジウムとして開催します。

プログラム

司会・進行：重松孝昌(大阪市立大学工学研究科教授)
あいさつ：西澤良記(大阪市立大学長)

第一部 基調講演

「いのちを守る都市づくり」 宮野道雄(大阪市立大学副学長)

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター・趣旨説明：森一彦(大阪市立大学生活科学研究科教授)

「東日本大震災の被害と課題」 三田村宗樹(大阪市立大学理学研究科教授)

「災害時救命医療のあり方」 山本啓雅(大阪市立大学医学研究科准教授、災害派遣医療チーム)

「大阪市における都市防災の対応」 水野智雄(大阪市危機管理室)

「地域コミュニティ強化の取り組みと減災」 高橋英樹(大阪市住吉区長)

ディスカッション コメント：加藤司(大阪市立大学経営学研究科教授)

参加費

無料
定員200名
(先着順)



マップ/電車でのアクセス

大阪市中央区安土町3-1-3

地下鉄御堂筋線「本町駅」下車、1、3号出口より徒歩3分

会場への 経路・所要時間

関西空港から：大阪リムジンバスで約50分

大阪空港から：大阪リムジンバスで約30分

車：ホテル地階部分は大阪市営「安土町駐車場(有料)」

お申し込み先：大阪市立大学重点研究「都市防災研究」プロジェクト事務局(メールもしくはファックスのみ)

氏名、連絡先を記入してお申し込み下さい

メール:bousai.jimukyoku@gmail.com ファックス:06-6605-3086